

ハルナス 利用マニュアル v1

- バージョン: v1
- 最終更新: 2026-04-30
- 対象: 現行の Web アプリ、Gateway、設定画面
- 対象読者: 医師、看護師、医療クラーク、管理者、録音端末を扱うスタッフ

1. はじめに

ハルナス は、診察中の会話を録音し、リアルタイムの書き起こしと診療記録の下書きを作成するアプリです。

診療記録の下書きは AI が作成します。確定前に必ず医師または施設で定めた確認者が内容を確認し、必要な修正を行ってください。

このマニュアルは、現在のアプリで利用できる操作に合わせています。将来構想ではなく、実装済みのログイン、診療セッション、PC/iPhone 録音、SOAP 下書き作成、レビュー、確定、設定画面を対象にします。

2. 利用前に準備するもの

項目	内容
PC	診療セッション画面を開く端末です。Chrome、Edge、Safari などの現代的なブラウザを使います。
録音端末	PC のマイク、または iPhone などのスマートフォンを使います。
ログイン情報	病院コード、個人ID、ログイン用パスワードが必要です。
マイク許可	録音端末のブラウザでマイク利用を許可します。
運用ルール	録音同意、電子カルテ転記、保存期間、端末管理は施設のルールに従います。

共有端末を使う場合は、利用後に必ずログアウトしてください。

3. できること

- 診療セッションを作成する

- PC または iPhone で録音する
- 録音中にリアルタイム書き起こしを確認する
- 録音終了後に SOAP 下書き、または施設のプロンプトに沿った診療記録下書きを作成する
- 作成された下書きを編集する
- 診療記録を確定する
- 診療記録全文をコピーして電子カルテへ転記する
- 管理者がメンバー、権限、パスワード、プロンプト、操作ログを管理する

4. 基本の流れ

手順	操作	主な画面
1	ログインする	ログイン
2	「診療を開始」を押す	診療セッション
3	患者情報と使用プロンプトを確認する	診療セッション詳細
4	録音方法を選ぶ	録音方法選択
5	PC または iPhone で録音を開始する	診療セッション詳細 / 録音用スマホ
6	書き起こしを確認する	診療セッション詳細
7	録音を停止する	診療セッション詳細
8	SOAP 下書きを作成する	診療セッション詳細
9	下書きを確認、編集する	診療記録
10	確定し、必要に応じてコピーする	診療記録

5. ログイン

ログイン画面では、次の 3 つを入力します。

- 病院コード
- 個人ID
- ログイン用パスワード

入力後、「ログイン」を押します。

診療の記録を、 AIと一緒に。

診察中の会話をスマホで録音し、診療記録の下書きをその場で作成します。医師は内容を確認・修正してから、電子カルテへ転記できます。

- ✓ 診察に集中したまま、その場で書き起こしを確認
- ✓ 診療記録の下書きを自動作成し、そのまま編集
- ✓ 確定した記録だけを保存し、操作履歴を残す

© ハルナス

診療画面にログイン

診療画面の作成と閲覧にはログイン用パスワードが必要です。

病院コード

例: clinic_tokyo_001

個人ID

例: yamada

ログイン用パスワード

パスワードを入力



ログイン

病院コード、個人ID、ログイン用パスワードでログインします。

ログインできない場合は、次を確認してください。

- 病院コードに余分な空白が入っていないか
- 個人IDが正しいか
- パスワードが最新のものが
- 管理者によってアカウントが作成済みか
- ネットワークが利用できるか

パスワードを忘れた場合は、管理者に再設定を依頼してください。現在のパスワードを画面上で確認することはできません。

6. 診療セッション一覧

ログイン後、「診療セッション」画面が表示されます。

ここでは次の操作ができます。

- 新しい診療を開始する
- 過去の診療履歴を開く
- 患者名、症状、セッションIDで検索する
- 状態で絞り込む
- ページを切り替えて過去の診療履歴を確認する
- 自分の一覧から診療履歴を削除する

診療開始、履歴検索、状態による絞り込みを行います。

「診療を開始」を押すと、新しい診療セッションが作成され、診療画面へ移動します。患者情報は診療画面で入力します。

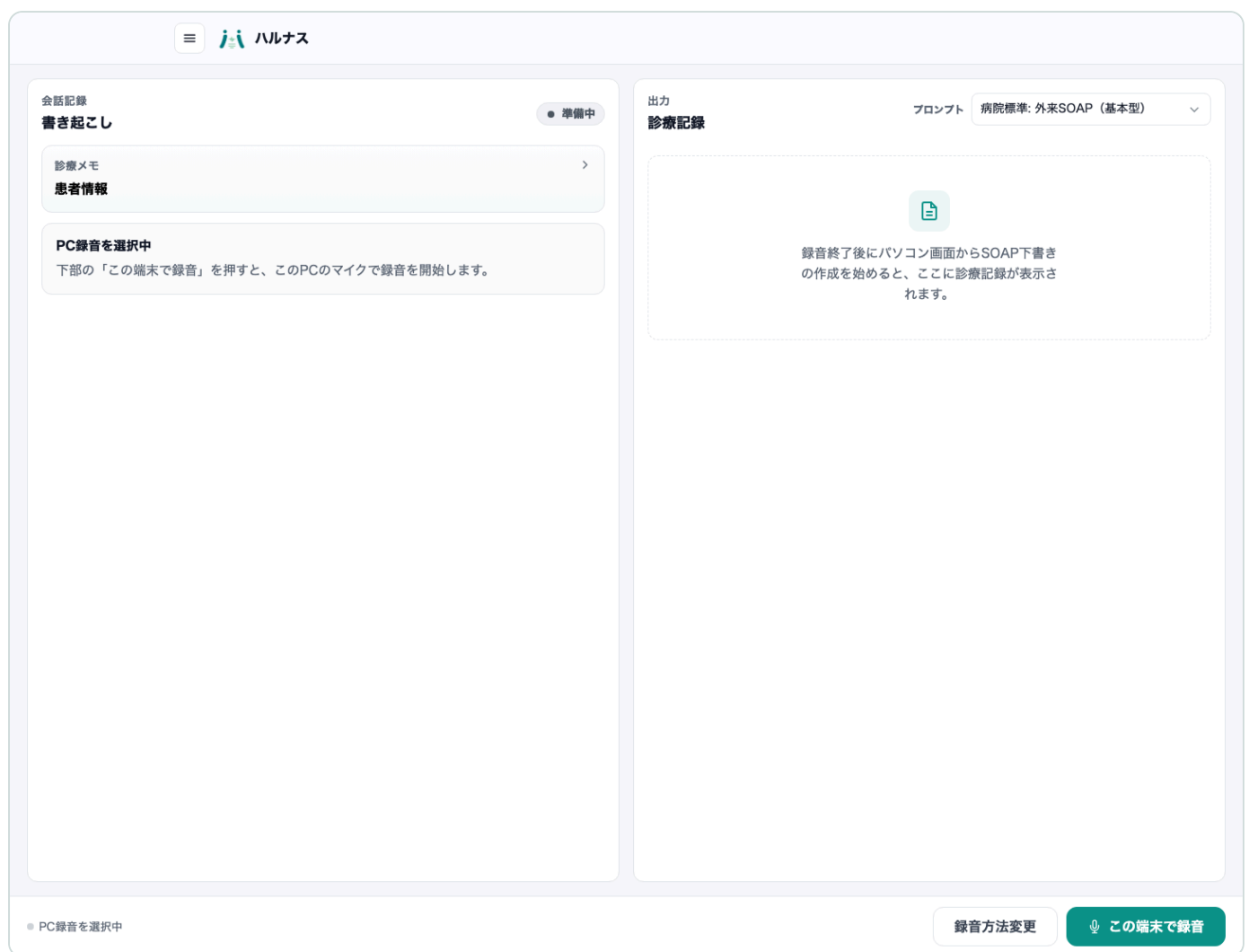
一覧の「削除」は、ホーム画面の一覧から非表示にする操作です。診療データそのものの削除ではありません。

7. 診療セッション画面の見方

診療セッション画面は、診療中の操作を行う中心画面です。

主な領域は次のとおりです。

領域	役割
患者情報	患者名、症状、相談内容などを入力します。
プロンプト	この診療で使うプロンプトを確認、変更します。
書き起こし	録音中の会話と確定済みの文字起こしを確認します。
診療記録	SOAP 下書き、編集欄、コピー、確定を扱います。
下部操作バー	録音方法選択、録音開始、録音停止、録り直し、SOAP作成を行います。



会話記録
書き起こし ● 準備中

診療メモ >
患者情報

PC録音を選択中
下部の「この端末で録音」を押すと、このPCのマイクで録音を開始します。

出力
診療記録 プロンプト 病院標準: 外来SOAP (基本型) ▼

録音終了後にパソコン画面からSOAP下書きの作成を始めると、ここに診療記録が表示されます。

● PC録音を選択中 録音方法変更 この端末で録音

録音前に患者情報、プロンプト、録音方法を確認します。

画面上の状態表示は、現在のセッション状態を表します。

状態	意味
準備中	セッション作成直後です。録音方法を選べます。
スマホ接続済み	iPhone などの録音端末が接続済みです。
録音中	音声を送信し、書き起こしを作成しています。
接続不安定	録音中に接続が不安定になっています。
録音終了	録音を停止済みです。SOAP 下書きを作成できます。
SOAP下書き作成中	診療記録の下書きを生成しています。
医師確認待ち	下書きが作成され、レビュー可能です。
確定済み	診療記録が確定済みです。必要に応じて再編集できます。保存すると未確定に戻りません。
要確認	失敗または確認が必要な状態です。

8. 患者情報を入力する

患者情報は、SOAP 下書きを作成する前に入力します。未入力でも録音と下書き作成は進められますが、電子カルテ転記前の確認を簡単にするため、可能な範囲で入力してください。

SOAP 下書き作成後も、患者情報は同じセッション内で編集できます。ただし、SOAP 下書き作成中は編集できません。患者情報の取り違えに気づいた場合は、確定前に内容を修正し、記録全体を確認してください。

入力時の注意:

- 患者名や症状は、セッション検索にも使われます。
- 患者情報は診療記録の作成前に確認してください。
- 患者取り違えを防ぐため、SOAP 下書き作成前に画面上の患者情報を読み合わせてください。

9. プロンプトを選ぶ

「プロンプト」欄では、この診療で使うプロンプトを選べます。標準設定では、病院標準またはメンバーに割り当てられた既定のプロンプトが使われます。

プロンプトは、診療記録の出力形式や記載の細かさに影響します。管理者が公開したプロンプト、病院標準プロンプト、メンバーに割り当てられたプロンプトが選択候補になります。

プロンプト変更のタイミング:

- SOAP 下書き作成前: この診療で使うプロンプトを変更できます。
- SOAP 下書き作成後: 別プロンプトで SOAP 下書きを再作成できます。
- 録音中または SOAP 下書き作成中: プロンプトは変更できません。

再作成を行うと、現在の下書きは履歴に残り、保存済みの書き起こしを使って新しい下書きを作成します。未保存の手入力編集は引き継がれないため、必要な修正は保存されていることを確認してから再作成してください。

10. 録音方法を選ぶ

診療セッションでは、次の 2 つの録音方法を選べます。

録音方法	使う場面
iPhoneで録音	診察室の会話をスマートフォンで拾いたい場合に使います。
このPCで録音	PC のマイクで録音したい場合に使います。

録音方法は、録音開始前に選択します。録音中は変更できません。

11. PC マイクで録音する

PC のマイクを使う場合は、診療画面で「このPCで録音」を選びます。

操作手順:

1. 診療セッション画面を開きます。
2. 録音方法で「このPCで録音」を選びます。
3. ブラウザにマイク許可を求められたら「許可」を選びます。
4. 「この端末で録音」を押します。
5. 録音中表示とマイク入力レベルを確認します。
6. 診察が終わったら「録音停止」を押します。

PC 録音の注意:

- 録音前に PC の入力デバイスが正しいか確認してください。
- ブラウザのマイク許可を拒否した場合は、サイト設定から許可し直してください。
- 録音開始後しばらく書き起こしが増えない場合は、マイク入力レベルを確認してください。

12. iPhone で録音する

iPhone などのスマートフォンを録音端末として使う場合は、PC 側で QR コードを表示し、スマートフォンで録音ページを開きます。

PC 側の操作:

1. 診療セッション画面を開きます。
2. 録音方法で「iPhoneで録音」を選びます。
3. 「QR / 接続」を押して QR コードを表示します。
4. iPhone のカメラで QR コードを読み取ります。
5. iPhone 側でマイク準備完了になるまで待ちます。
6. iPhone または PC から録音を開始します。

iPhone 側の操作:

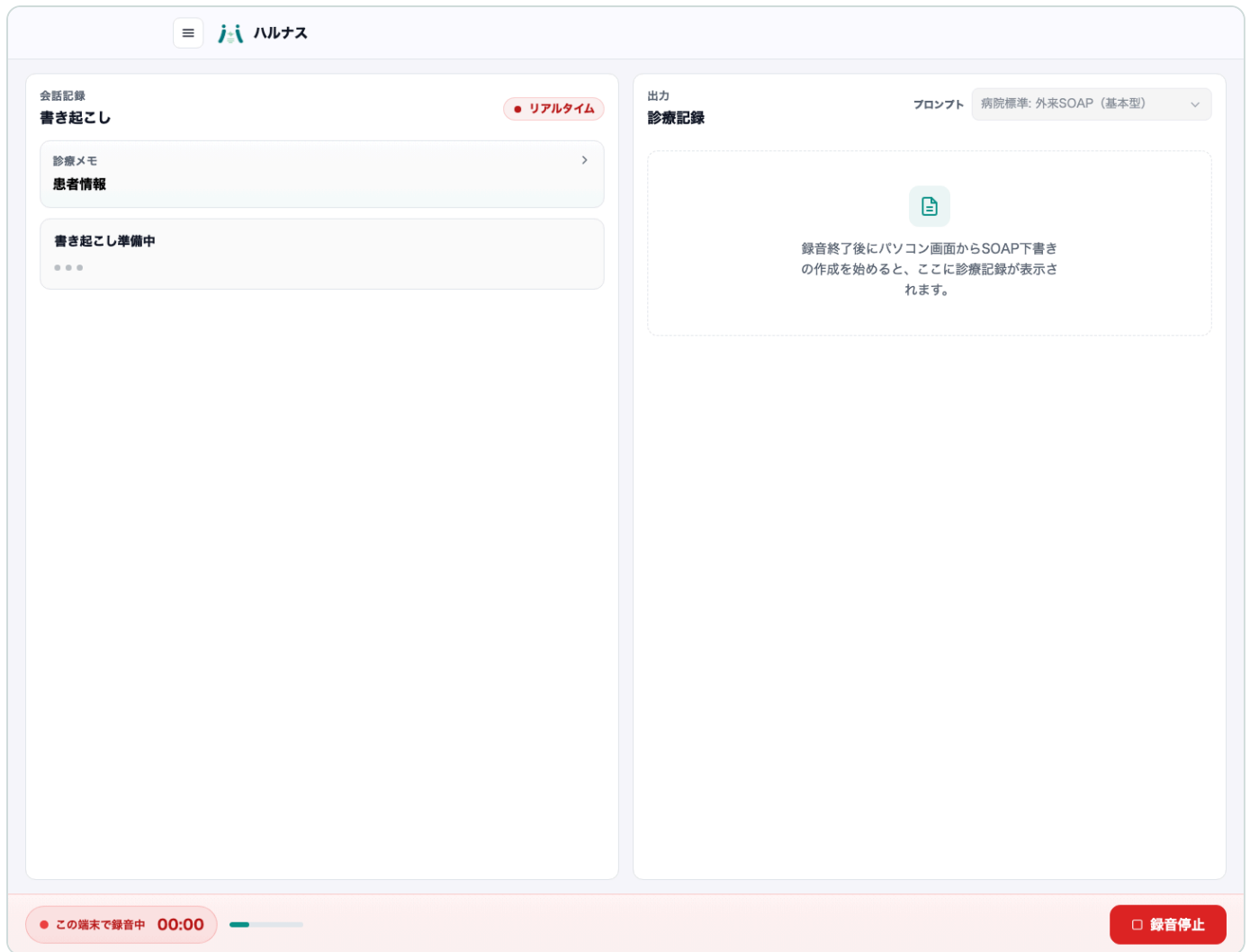
1. QR コードから録音ページを開きます。
2. 初回だけマイク利用を許可します。
3. 「録音開始待ち」または「マイク準備完了」になったことを確認します。
4. 録音ボタンを押すと録音が始まります。
5. 録音中にボタンを押すと録音を停止します。

iPhone 録音の注意:

- アプリ内ブラウザではマイク許可が保存されにくい場合があります。Safari または Chrome で開いてください。
- 画面を閉じたり、端末がスリープすると接続が不安定になることがあります。
- QR コードや接続リンクは、その診療セッション用です。不要な共有は避けてください。
- 接続できない場合は、PC 側で接続リンクをコピーしてスマートフォンに送る運用もできます。

13. 録音中に確認すること

録音中は、診療セッション画面に書き起こしが表示されます。



録音中は書き起こし、録音状態、マイク入力を確認します。

確認ポイント:

- 「録音中」と表示されているか
- マイク入力レベルが反応しているか
- 書き起こしが増えているか
- 接続不安定の警告が出ていないか

録音中に書き起こしがすぐ表示されない場合があります。数秒待っても増えない場合は、録音端末のマイク許可、入力デバイス、画面表示状態を確認してください。

書き起こしは診療支援のための情報です。誤変換や話者の取り違えが含まれる可能性があります。最終的な診療記録は、SOAP 下書き作成後のレビューで確認してください。

14. 録音を停止する

診察が終わったら、「録音停止」を押します。

録音停止後は、画面内のドロップダウンで使用するプロンプトを確認したうえで、次の操作を選べます。

- 患者情報を入力、確認する
- 録音を追加する
- SOAP 下書きを作成する
- 録り直す

SOAP 下書き作成後に追加録音を止めた場合は、「SOAPを更新」が表示されます。

録音を停止しただけでは、診療記録はまだ作成されません。録音停止後に「SOAP下書きを作成」を押してください。

15. 録音を破棄して録り直す

録音をやり直す場合は、「録り直す」を使います。

この操作を行うと、現在の書き起こしと録音内容をこのセッションから外し、録音開始前の状態に戻します。SOAP 下書きがまだ無い場合は、SOAP は作成されません。SOAP 下書きがある場合は、現在の書き起こし、録音内容、SOAP 下書きがこのセッションから外れます。

録り直しを検討する場面:

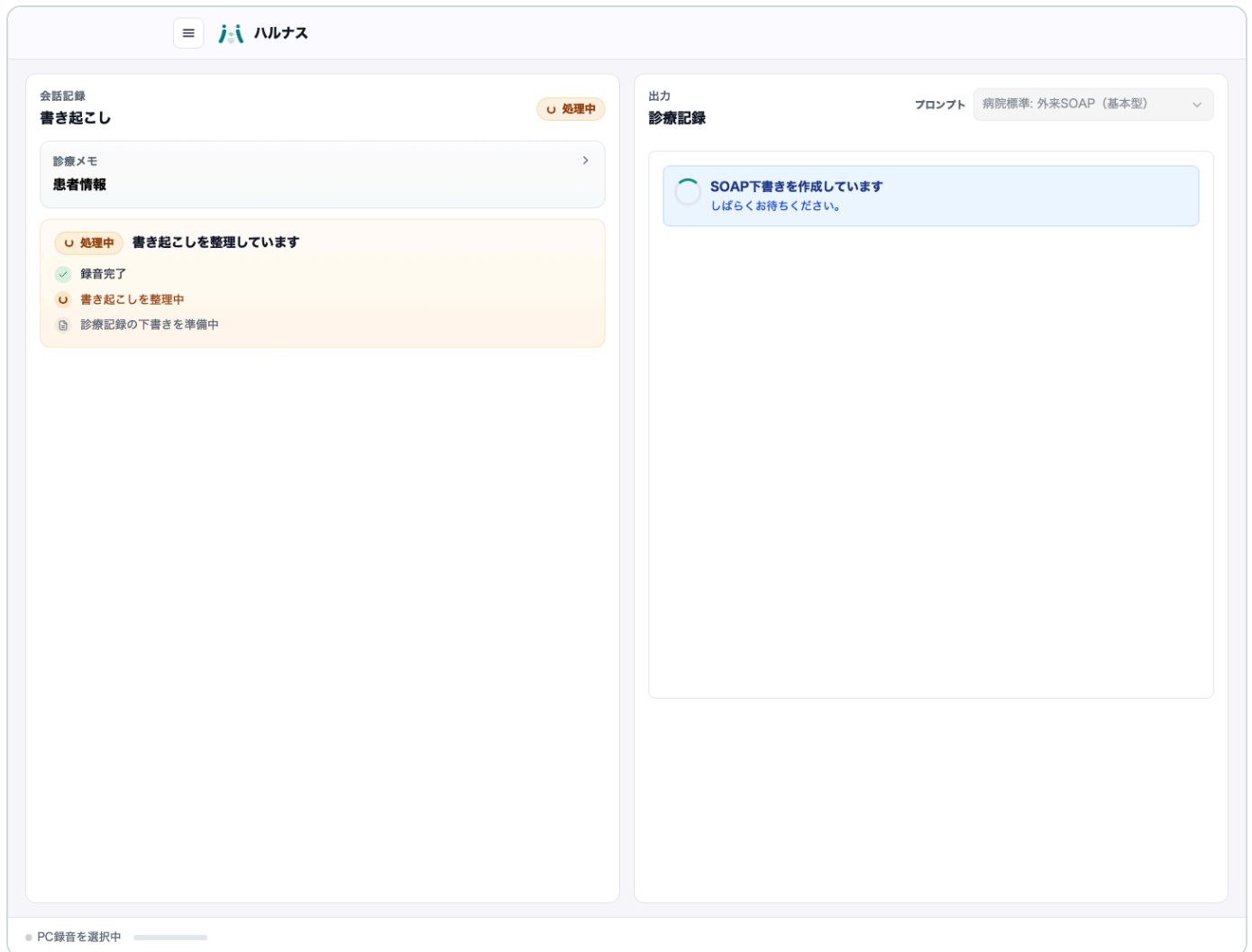
- 患者を取り違えた
- マイクが無音だった
- 別室の音声を録音していた
- 接続が長時間不安定だった
- 診療と関係のない音声が多く含まれた

破棄前に、施設の記録保存ルールやインシデント対応ルールを確認してください。

16. SOAP 下書きを作成する

録音停止後、「SOAP下書きを作成」を押すと、診療記録の下書き作成が始まります。

処理中は「SOAP下書き作成中」と表示されます。完了すると「診療記録」欄に下書きが表示され、状態は「医師確認待ち」になります。



作成された下書きを確認、編集、コピー、確定できます。

作成前に確認すること:

- 患者情報に誤りがないか
- 録音対象の診療が正しいか
- 使用するプロンプトが正しいか
- 書き起こしに大きな欠落がないか

生成に失敗した場合は、しばらく待ってから再試行してください。繰り返し失敗する場合は、管理者にセッションIDと発生時刻を共有してください。

17. 診療記録を確認、編集する

SOAP 下書きが作成されると、「診療記録」欄で内容を編集できます。

編集時の動き:

- 診療記録本文を直接編集できます。

- 編集内容は一定時間後に自動保存されます。
- 保存前の変更がある場合は、「確定する」ボタンが押せません。
- 「元に戻す」で保存前の編集を破棄できます。

確認すべき内容:

- 主訴、現病歴、所見、評価、計画が実際の診療と一致しているか
- AI が会話にない内容を補っていないか
- 投薬、検査、紹介、再診、説明内容に誤りがないか
- 患者への説明、注意事項、同意内容が実際と一致しているか
- 電子カルテに貼り付ける形式として過不足がないか

AI が作成した下書きをそのまま診療録として扱わないでください。確定前に必ず人が確認します。

18. 診療記録を確定する

内容に問題がなければ、「確定する」を押します。

確認ダイアログで再度「確定する」を押すと、診療記録は確定済みになります。確定後も再編集できますが、編集内容を保存すると未確定に戻り、あらためて確認が必要です。

確定前の注意:

- 未保存の編集が残っていないことを確認してください。
- 患者情報と診療内容が一致していることを確認してください。
- 電子カルテに転記する前提で、記載内容を読み直してください。
- 確定後に修正が必要な場合は、施設の訂正運用に従ってください。

確認用の仮下書きは確定できない場合があります。その場合は、SOAP 下書きを作成し直してください。

19. 診療記録をコピーする

「コピー」を押すと、診療記録全文がクリップボードにコピーされます。

コピー後は、電子カルテなど所定のシステムへ貼り付けてください。

コピー時の注意:

- 貼り付け先の患者が正しいことを確認してください。
- 貼り付け後に改行や見出しが崩れていないか確認してください。
- コピーした内容をチャット、個人メモ、許可されていない場所へ貼り付けしないでください。

20. 管理者向け: 設定画面

設定画面では、権限に応じて次の管理機能を利用できます。

セクション	内容
権限管理	メンバー、ロール、パスワード、プロンプト割当を管理します。
プロンプト設定	SOAP プロンプトを作成、下書き保存、公開、公開停止、プレビューします。
操作ログ	設定変更や主な操作の履歴を確認します。
アカウント	自分の医療機関、権限、契約状態、既定の録音方法、ログインセッションを確認し、ログアウトします。

表示される項目はログイン中のメンバーの権限によって変わります。管理権限がない場合、設定画面を直接開いても利用できないことがあります。

21. 管理者向け: メンバー管理

「権限管理」では、メンバーの追加、パスワード再設定、プロンプト割当変更を行います。

権限管理

メンバーアカウント、ロール、パスワード、プロンプト割当を設定します。

メンバーを追加

検索

氏名・個人ID・録音方法・プロンプト名で検索

🔄 同期中 0名

氏名	個人ID	権限	録音方法	プロンプト	操作
条件に一致するメンバーはありません。					

メンバー、個人ID、権限、プロンプト割当を管理します。

メンバー追加時に入力する項目:

- 氏名
- 個人ID
- 初期パスワード
- 権限

パスワード再設定:

- 管理者は現在のパスワードを確認できません。
- 新しいパスワードを設定します。
- 共有端末や初期パスワードの使い回しは避けてください。

プロンプト割当:

- 公開中のプロンプトだけを割り当てできます。
- 「病院標準」を選ぶと、そのメンバーは病院標準プロンプトを使います。
- 公開停止済みのプロンプトは選択できません。

22. 管理者向け: ロール

主なロールと用途は次のとおりです。

ロール	画面表示名	主な用途
platform_admin	運営管理者	全医療機関と組織設定の管理
org_owner	病院オーナー	病院内の管理責任者
org_admin	病院管理者	メンバー、権限、記録設定、監査ログの管理
it_admin	システム管理者	院内IT、ログイン、セキュリティ管理
clinical_admin	診療管理者	診療フロー、プロンプト設定、診療履歴の管理
doctor	医師	診療開始、録音操作、記録作成、編集、確定
nurse	看護師	診療準備、患者情報入力、録音補助、担当診療確認
medical_scribe	医療クラーク	記録下書き作成補助、担当診療確認
reception	受付	将来ロール。現状は設定とアカウント確認が中心
billing_staff	医事・請求	確定済み診療記録の確認と出力
auditor	監査閲覧	操作ログと病院内診療履歴の閲覧
readonly_clinical	診療閲覧	担当診療の閲覧のみ

ロールは複数付与できます。実際に操作できる範囲は、付与されたロールの権限と担当セッションの関係で決まります。

23. 管理者向け: プロンプト設定

「プロンプト設定」では、診療記録の出力形式を管理します。

プロンプト設定

SOAPプロンプトを作成、確認、公開します。

普段のカルテから作成

プロンプトを作成

検索

プロンプト名で検索

条件に一致するプロンプトはありません。

プロンプトを選択してください

プロンプトを作成すると、医師ごとに診療記録の完成形を変えられます。

プロンプト本文を編集し、プレビューしてから公開します。

主な操作:

- プロンプトを作成する
- プロンプト名を編集する
- プロンプト本文を編集する
- 会話例から出力例を作成する
- 普段のカルテからフォーマット案を作成する
- 下書きを保存する
- 適用先を選ぶ
- 公開して次回以降の診療に反映する
- 公開停止する

現在のプロンプト本文は、1つの入力欄に次の見出しを含めて管理します。

- **【テンプレート】**
- **【出力例】**

- **【スタイル】**

【テンプレート】には出力構造、**【出力例】**には期待する完成例、**【スタイル】**には文体や粒度の指示を書きます。

公開の考え方:

- 下書き保存だけでは、実際の診療記録作成には反映されません。
- 公開すると、次回以降に作成する SOAP 下書きから反映されます。
- 過去の診療記録や作成済みの SOAP 下書きは変更されません。
- 公開停止すると、割当中のメンバーは病院標準に戻ります。

プロンプトを変更するときは、実際の診療に近い会話例で出力プレビューを確認してください。

24. 管理者向け: 操作ログ

「操作ログ」では、病院内の設定変更や主な操作履歴を確認できます。

確認できる情報:

- 操作種別
- 操作時刻
- 実行者
- 対象セッションや設定変更の概要

トラブル調査時は、利用者から次の情報を集めると確認しやすくなります。

- 発生時刻
- セッションID
- 利用者の個人ID
- 実行した操作
- 表示されたエラーメッセージ

25. アカウントとログアウト

「アカウント」では、ログイン中の医療機関、病院コード、メンバー名、権限を確認できます。あわせて、契約状態、利用状態、既定の録音方法、ログインセッションを確認できます。

契約中の病院では、「契約・支払いを管理」から決済、支払い方法更新、解約手続きに進めます。

初回ログイン時は、案内メールのリンクから初回パスワード設定画面が開くことがあります。また、ログイン後に認証アプリの登録や確認コード入力求められることがあります。

共有端末では、利用後に「ログアウト」を押してください。ログアウトせずに端末を離れると、別の人が同じアカウントで操作できる可能性があります。

26. トラブルシューティング

困ったこと	確認すること
ログインできない	病院コード、個人ID、パスワード、初回パスワード設定の完了有無、確認コードの入力内容を確認します。
診療を開始できない	ロールに診療作成権限があるか、ネットワークが利用できるか確認します。
QRコードで接続できない	スマートフォンのカメラ、ブラウザ、ネットワーク、接続リンクの期限を確認します。
iPhoneでマイク許可が出ない	Safari または Chrome で開き、サイト設定でマイクを許可します。
PC録音できない	ブラウザのマイク許可、入力デバイス、OSのマイク設定を確認します。
書き起こしが増えない	マイク入力レベル、録音状態、接続状態、画面のスリープを確認します。
録音中に接続が不安定になる	端末をスリープさせず、画面を開いたままにします。必要なら録り直します。
SOAP下書き作成に失敗する	録音停止済みか、ネットワークが安定しているか確認し、再試行します。
確定できない	未保存の編集がないか、仮下書きではないか、確定権限があるか確認します。
コピーできない	ブラウザのクリップボード許可、HTTPS接続、別ブラウザでの再試行を確認します。
セッションが見つからない	検索条件、状態フィルタ、ページ移動、削除済みか、担当権限を確認します。

解決しない場合は、管理者にセッションID、発生時刻、操作内容、画面に表示されたメッセージを共有してください。

27. 安全に使うための注意

ハルナスは診療記録作成を支援するツールです。診療行為、診断、処方、説明責任を代替するものではありません。

必ず守ること:

- 録音の同意や説明は施設の方針に従う
- 患者情報と診療内容の取り違えを防ぐ
- AI が作成した下書きは必ず確認、修正する
- 確定前に薬剤名、用量、検査、紹介、再診指示を確認する
- 電子カルテへ貼り付ける前に貼り付け先患者を確認する
- QR コードや接続リンクを不要に共有しない
- 共有端末ではログアウトする
- 診療情報を許可されていない場所へコピーしない

28. 用語集

用語	意味
診療セッション	1回の診療録音と記録作成を扱う単位です。
録音用スマホ	QR コードで接続し、録音端末として使うスマートフォンです。
書き起こし	録音音声から作成されるテキストです。
SOAP 下書き	書き起こしをもとに AI が作成する診療記録の下書きです。
プロンプト	診療記録の出力形式や注意点を指定する設定です。
病院標準	その医療機関の標準として使うプロンプトです。
確定	レビュー後、診療記録を編集不可の状態にする操作です。
操作ログ	設定変更や主要操作を後から確認するための履歴です。

29. 変更履歴

バージョン	日付	内容
v1	2026-04-17	現行アプリの利用手順、PC/iPhone 録音、SOAP 下書き、レビュー、確定、管理画面をまとめた初版。